

東京海洋大学 OPEN CAMPUS 2025

品川キャンパスパンフレット

8/2（土） 海洋生命科学部

8/3（日） 海洋資源環境学部

8/23（土） 海洋生命科学部・海洋資源環境学部

タイムテーブル・予約はコチラからご覧いただけます。

<https://www.ocans.jp/kaiyodai/schedule?fid=y0Ab9LmI>



目次

01	プログラムの申込について	01
02	対面イベントご来場の皆さまへ	02
03	入場受付について	03
04	8/2 海洋生命科学部 プログラム	
	海洋生物資源学科	04
	食品生産科学科	05
	海洋政策文化学科	06
05	8/3 海洋資源環境学部 プログラム	
	海洋環境科学科	07
	海洋資源エネルギー学科	08
06	8/23 海洋生命科学部・海洋資源環境学部 プログラム	
	海洋生物資源学科	09
	食品生産科学科	10
	海洋政策文化学科	11
	海洋環境科学科	12
	海洋資源エネルギー学科	13
07	全日共通プログラム・休憩所	14
08	キャンパスマップ	15

プログラムの事前申込について

対面イベントは入場券の申込が必須です

対面イベントにご参加の方は、全員入場券のお申込みが必要です。当日受付で入場券の確認を行います。「予約不要プログラムのみ参加する」、「大学の様子を見たい」、「資料が欲しい」などの方もお申込みをお願いいたします。

プログラムは、事前予約制・当日会場先着順・予約不要の3種類あります。事前予約制のプログラムに参加をご希望の方は、プログラム毎に申し込みが必要です。抽選制のプログラムについては、申込期間内にOCANsにてお申し込みください。

申し込みは参加者個人単位で行ってください

お申込みは参加者個人単位で行ってください。中学生・高校生など学生同士でのご参加の場合は、参加者全員OCANsよりお申し込みください。

※保護者等同伴者の申込は不要です。申込者の新規登録時、またはマイページで新規イベント会場・日程登録時に、同伴人数を入力してください。

当日参加されない方は「プログラムのキャンセル」にご協力ください

当日不参加が決まった方は、プログラム申込のキャンセルをお願いいたします。

事前予約制のプログラムにおいて、申し込み状況が満席の場合でも、当日キャンセルで空席が出た場合は、受講いただける可能性があります。詳細は、現地会場にて直接お問い合わせください。

※当日キャンセル待ちをしていないプログラムもありますので、ご容赦ください。

プログラムのお申込みはこちらまたは右のQRコードから！

OCANsサイトQR



予約開始日時：7/4（金）16：00～

※事前予約プログラム（抽選制）

抽選申込期間：7/4（金）16：00～7/13（日）23：59

抽選結果公開日：7/16（水）以降



対面イベントご来場の皆さまへ

..... プログラム参加について

- ・各プログラムは入退場自由です。一部事前予約制や当日先着順のプログラムがあります。定員に達した場合は参加できませんので、ご了承ください。
- ・一部プログラムを除き、同伴者もプログラムに参加可能です。
- ・当日は多くの方が来場されるため、混雑が予想されます。参加者が多いプログラムでは、人数制限を行ったり立ち見となる場合もあります。
- ・オープンキャンパスのイベントが行われていない教室や建物には入らないようご注意願います。
- ・プログラム内容は変更になる場合がございます。更新情報は、本学ホームページにてお知らせいたします。

..... アンケート回答のご協力をお願いします！

ご帰宅の前に参加者アンケートにぜひご協力ください。当日アンケートにご回答いただいた方限定で、総合受付にてノベルティをプレゼントします。

..... その他連絡事項

- ・駐車場及び駐輪場はありません。ご来場の際は**公共交通機関**をご利用ください。
- ・当日は実施時間内であれば自由に退場・再入場できます。再入場する際、入場券の提示は不要です。
- ・当日は厳しい暑さが予想されます。熱中症対策を万全に行ったうえでご来場ください。
- ・気分が悪くなった場合は、総合受付にお越しいただくか、本学教職員またはオープンキャンパススタッフにお申し出ください。
- ・ご不明な点、落とし物・忘れ物等ございましたら、総合受付までお越しください。
- ・当日、本学ホームページや参加団体のホームページに掲載するため、各プログラムの様子を撮影することがあります。（参加者の顔は写りません）

入場受付について

オープンキャンパスに参加される方は、まず総合受付（正門前）にお越しください。受付で案内や海洋大限定ノベルティ等をお渡しします。

また、総合受付にて入場券（OCANsより予約）の確認を行います。付添いの方以外は、個人でお申込みの上、お越しください。総合受付にお越しいただく際は、予めスマートフォン・タブレット等で、OCANsのマイページから入場券をご準備ください。

入場券の表示方法



1. マイページから「受講証」を選択



2. 「受講証表示」をタップ



3. ピンクの部分をスワイプする



PROGRAM 8 / 2 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋生物資源学科  : 要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	魚の性別は環境で変わる？地球温暖化が魚類の性に与える影響  山本洋嗣 准教授 集団生物学研究室	本会場： 白鷹館 1階 講義室 サテライト会場： 講義棟 2階 22番講義室 3階 32番講義室	10:00~10:45	魚の性決定は他の脊椎動物と異なり、生息環境の影響を受けやすいといわれています。講義では、脊椎動物に一般的にみられる遺伝型性決定機構から、魚にみられるユニークな環境依存型性決定機構までをわかりやすく解説するとともに、現在私たちが取り組んでいる「地球温暖化が魚類の性決定に与える影響評価」について紹介します。
	サバからマグロは生まれるか？  吉崎悟朗 教授 水族生理学研究室		13:00~13:45	小型のサバの仲間がクロマグロを産んでくれたら、大型で成熟までに時間がかかるうえ、準絶滅危惧種にも指定されているクロマグロの養殖を飛躍的に簡便化することが可能です。卵や精子のおおもとの細胞である生殖幹細胞を操作することでこれが実現に近づいています。本講義ではその原理と将来展望を紹介します。
	宇宙環境における魚介類の生産！宇宙養殖の話  遠藤雅人 准教授 水族養殖学研究室		14:00~14:45	将来、人類が地球を離れて生活するためには地球の生態系を切り出して自給自足を行う必要があります。これまでは野菜などの植物を育てる構想が検討されてきましたが、動物性タンパク質の供給源として魚介類の養殖も取り上げられるようになりました。宇宙で魚やエビを飼うために必要なことは何か？その研究とは？宇宙環境における水産養殖技術について解説します。
体験学習	絶滅危惧種のミヤコタナゴを救え！ 水族生理学研究室	2号館 2階 200A	10:00~16:00	私たちの研究室では、凍結保存した魚の生殖幹細胞をドナーとして宿主に移植し、宿主からドナー由来の次世代を生産する“代理親魚技法”で、絶滅危惧種の保全に取り組んでいます。この技術により、ドナー細胞を半永久的に保存でき、必要に応じてドナー個体の次世代を復元することが可能です。本イベントでは、この研究内容についてご紹介します。
	魚の履歴書:耳石の観察からわかること 集団生物学研究室			魚の頭部に存在する耳石は個体の一生を記録する「履歴書」です。耳石表面に形成される輪紋や、含まれる微量元素を解析することで、年齢や成長、過去の生息環境まで読み解くことができます。今回は、身近な煮干しから実際に耳石を取り出し、観察してみましょう。
	環境にやさしいアクアポニックス 水族養殖学研究室			餌を与える魚介類の養殖では生産量の数倍もの物質が天然水域に放出されています。その排出される物質を肥料として野菜などを育てる環境にやさしい食料生産システムがアクアポニックスです。今回は小型の実物モデルを展示するとともに最新の研究についてご紹介します！
	クジラの個体数変化をシミュレーションで100年間予測してみよう！ 資源解析学研究室			資源解析学研究室では、様々な水産資源を対象に、個体数がなぜ、どのように変化するのかをモデルとデータから探り、将来にわたって持続的に利用する方法を研究しています。この体験学習では、PCを用いてクジラの個体数の変化を100年間予測するシミュレーションに挑戦します。
研究紹介 (パネル展示)	学生による研究室紹介・パネル展示 水族生理学研究室、集団生物学研究室、水族養殖学研究室、資源解析学研究室、水圏生物生産工学研究所	白鷹館 2階 多目的スペース	10:00~16:00	海洋生物資源学科の様々な研究室で行なっている海の生き物に関する研究について、実際に研究を行っている学生がポスターやパネルを使ってみなさんにご紹介します。
	学生による研究室紹介・パネル展示 水族病理学研究室、水族栄養学研究室、応用藻類学研究室、増殖生態学研究室、魚群制御学研究室、生産システム学研究室、ゲノム科学研究室、先端魚類防疫学研究室、応用微生物学研究室		10:00~16:00	

海洋生物資源学科 模擬講義の会場について
本会場（白鷹館1階講義室）は、高校生・中学生の予約者のみ入場可能です。同伴者、本会場の予約が出来なかった方は、サテライト会場（講義棟2階22番講義室、3階32番講義室）にてご参加ください。サテライト会場は会場先着順です。

PROGRAM 8 / 2

9：30 ▶ 16：00（受付 9:00 ▶ 15:30）

食品生産科学科		📍：要事前予約		
	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	温度を操る科学！～おいしさ・安全・地球の未来を支える予測と制御～ 福岡美香 教授	講義棟 1階 大講義室	11:00～11:30	私たちは太古の昔から、食材を加熱することで、消化を助け、おいしさを引き出し、安全に食べる工夫を重ねてきました。加熱は、食にとって欠かせない重要な工程です。しかし近年、地球温暖化の影響が身近に感じられるようになり、調理や食品加工においても環境への配慮が強く求められるようになってきました。ここでは、食材に対して必要最小限かつ的確な加熱を実現するための、予測と制御の技術について紹介します。
	食物アレルギーはなぜ起きる？ 黒瀬光一 教授		14:30～15:00	日本における食物アレルギーの現状について解説し、次いで食物アレルギーがどういう仕組みで発症するのか、体にとってのアレルギー反応の意義は何か、について考察し、最後に、我々が開発しようとしているアレルギー性の評価方法に関する研究について紹介します。
体験学習	インスタントラーメンを作る（油の科学）※1 食品保全化学研究室	3号館 3階 302号室	①9:30～9:55 ②10:00～10:25 ③10:30～10:55 ④11:00～11:25 ⑤11:30～11:55 ⑥12:00～12:25	インスタントラーメンと乾麺の違いを、実際にインスタントラーメンを作って説明します。インスタントラーメン製造において油がどのような役割を果たすのかに関しても説明します。
	海藻から人造イクラをつくる※2📍 食品物性学研究室	3号館 2階 226実験室	①9:30～10:00 ②10:15～10:45 ③11:00～11:30 ④11:45～12:15	海藻由来の多糖類であるアルギン酸から人造イクラを作ります。
	低温の不思議 ～超低温と過冷却～※2 📍 食品冷凍学研究室	3号館 1階 121実験室	①12:15～12:45 ②13:00～13:30 ③13:45～14:15 ④15:15～16:00	低温にすると食品の保存性が向上する、というのも良く考えれば不思議だと思いませんか？この体験学習では、低温で起こる不思議な現象を実際に見ていただき、その背景にあるサイエンスについて解説します。
研究紹介（パネル展示）	安全で美味しい食品を消費者に届ける技術 食品微生物学研究室	3号館 4階 422実験室	9:30～12:30	安全で美味しい食品を消費者に提供するために欠かせない、食中毒菌の制御方法及び賞味期限の延長に関する研究について、食品微生物学研究室で取り組んでいる内容をご紹介します。
	海洋生物がもつ不思議なはたらきを利用する 生体物質化学研究室	3号館 3階 308セミナー室	9:30～15:30	最新の研究で明らかになった海洋生物の不思議な成分とその実用化の一端を紹介します。
	毎日の食事を安全かつ美味しく豊かに！ －私たちの食を支える加熱制御技術－ 食品熱操作工学研究室	4号館	9:30～12:30	食品熱操作工学研究室では、食品の加熱・冷却操作に関して、熱の移動現象を基礎として、これに伴う水分の移動や、さまざまな食材の変化について解析し、加熱加工・調理、殺菌の予測・制御を目指しています。研究内容の紹介とともに、食品産業で実際に使われている機器の小型試験機をご覧くださいませ。
	時を止める魔法、それが冷凍 食品冷凍学研究室	3号館 1階 118実験室	9:30～16:00	冷凍は、食品を今あるそのままの状態で保存できる可能性を持つ唯一の保存法です。我々はそんな冷凍保存の可能性をあらゆる側面から研究しています。実験室にパネルを展示してご紹介します。
	生命科学の最前線－アレルギーからD-アミノ酸まで－ 食品衛生化学研究室	3号館 3階 320実験室	9:30～12:30	魚介類やその寄生虫あるいは化粧品や医薬品などの化学物質によるアレルギー、発熱物質であるエンドキシンの細胞を用いた検出法、はたまたエビの食味向上やイカのD-アミノ酸、昆虫食に対する安全性に至るまで、私たちが取り組んでいる多種多様な最新の研究をパネルで紹介します。
教育研究紹介	食品生産科学科実習紹介（写真と製品展示） 渡辺学 教授、松本隆志 教授	3号館 1階 渡り廊下	9:30～14:00	食品生産科学科の実習に関するご質問を教員および学生がお受けいたします。実習風景は大型モニターで映され、実習で製造された製品（缶詰等）も展示されます。

※1 各回定員30名（会場で事前に整理券を配布します）、同伴可
※2 各回定員20名（事前予約制）、同伴可

PROGRAM 8 / 2 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋政策文化学科

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	水産物エコラベル ～重層的な空間スケールの視点に基づく発展可能性～ 大石太郎 准教授	図書館 1階 Shoal Room	11:30~12:00	多様な側面を持つ環境問題は、グローバル、ナショナルだけでなく、ローカル、リージョナルな空間スケールで問題解決に取り組むことが重要と考えられています。そうした空間スケールの重層性の視点から水産物エコラベルの事例を紹介し、将来の発展可能性について考えます。
	海を舞台にした文学作品の研究とは 大野美砂 教授		15:00~15:30	海洋政策文化学科には海に関するさまざまな授業がありますが、その中に「海洋文学」という授業があり、授業では海を舞台にした文学作品を読み、分析をします。本講義では、アメリカの作家ハーマン・メルヴィルとアーネスト・ヘミングウェイの作品を例に挙げながら、海洋文学作品を使ってどのような研究ができるのか、研究の一部をご紹介しますと思います。
体験学習	対話型ワークショップ「海の秩序を維持・管理するための制度とその課題」 大河内美香 准教授・松井隆宏 准教授	図書館 1階 Shoal Room	10:30~11:00	人々は海から水産資源を享受することに加え、現代では海を様々な利用して豊かな社会経済活動を営んでいます。水産経済と海洋法という異なる視点から、日本と世界の持続可能な資源と海の最適利用・管理の方法を議論し、将来にわたって維持すべき望ましい海の秩序について一緒に考えてみましょう。
	対話型ワークショップ「レジリエントな地域社会の実現に向けて」 佐々木剛 教授・萩原優騎 教授		13:30~14:00	レジリエンスとは、災害発生時などの危機的な状況下で、しなやかに対応し、困難を乗り越えることのできる能力です。この能力を備えた社会をどのように実現できるのか、森・川・海のつながりを視野に入れた持続可能な地域づくり、危機管理対策や人材育成をはじめ、様々な研究領域の視点から考えてみます。
	オープンゼミ「海の大学で「教育」について考えよう！」※1 畠山大 准教授	図書館 1階 多目的室	11:00~11:30	参加者の方と対話型で進めるオープンゼミです。「「海」の大学でいったいなぜ「教育」の話？」と思う方はぜひお越しください。「海」の視点からこれからの「教育」について楽しく一緒にお話ししましょう。
	オープンゼミ「国際海洋問題の学び方」※1 猪又秀夫 教授		14:00~14:30	漁業や海洋汚染などの国際的な海洋問題に興味がある中高生を対象として、東京海洋大学、特に海洋生命科学部の海洋政策文化学科において、国際海洋問題をどのように学び、自分の将来につなげていくかについて、海洋政策文化学科の教員による講義の後に参加学生とのディスカッションを行います。
	オープンゼミ「漁業の持続可能性を高めるために、何ができるか？」※1 廖凱 助教		14:30~15:00	現在、水産資源の減少、漁業者の高齢化、漁村人口の減少、そして漁業所得の伸び悩みなど、漁業・漁村を取り巻くさまざまな課題が指摘されています。6次産業化、経営の多角化、後継者育成や地域連携などを視点に、漁業者が取るべき対策について皆さんで意見を出し合い、ディスカッションしましょう。
教育研究紹介	学科入試案内 高橋周 教授	図書館 1階 Shoal Room	①10:00~10:30 ②12:30~13:00	海洋政策文化学科で実施している一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜について説明します。 ※各回とも内容は同じです。
	進路紹介 中原尚知 教授		①11:00~11:30 ②14:00~14:30	海洋政策文化学科を卒業した皆さんの就職先や進学状況について紹介します。 ※各回とも内容は同じです。
	卒論・研究室紹介 工藤貴史 教授		①12:00~12:30 ②14:30~15:00	海洋政策文化学科には様々な観点から海と人・社会の関係を学ぶ研究室があり、そこで学んだ卒業生の卒業論文を紹介し、本学科の学習・研究内容について具体的に説明します。 ※各回とも内容は同じです。
	実習紹介 藤本浩一 准教授		①13:00~13:30 ②15:30~16:00	1年生の専門導入のための実習をはじめ、マリンスポーツ、水産業、海洋政策、地域社会、水圏環境教育に関する海洋政策文化学科の実習を紹介します。 ※各回とも内容は同じです。
	学科個別相談 高橋周 教授	図書館 1階 グループ学習室	10:30~12:30	海洋政策文化学科での学びや学生生活全般などに関して、来場者の皆さんからの個別相談に応じます。
懇談会	海洋政策文化学科は、どんなところ？ ①千足耕一 海洋政策文化学科主任・その他学科教員 ②婁小波 教授・その他学科教員※2	①図書館 1階 Shoal Room ②図書館 1階 多目的室	①9:30~10:00 ②15:30~16:00	海洋政策文化学科の「学び」について説明し、来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。

※1 定員10名（会場先着順）、対象者（高校生・中学生）のみ参加可 ※2 定員15名（会場先着順）、同伴可

PROGRAM 8 / 3 10:00 ▶ 16:00 (受付 9:30 ▶ 15:30)

海洋環境科学科

📌: 要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模 擬 講 義	地球気候変動の核心部：青い海、白い海、黒い海、北極海と黒潮 島田浩二 教授 海洋気候物理学研究室	講義棟 1階 大講義室	10:00~10:45	宇宙から地球を眺めてみましょう。青い海、緑の大地、そして白い氷や雪のコントラストが美しい星であることに気づくと思います。水惑星である地球の気候は絶妙なバランスで成り立っています。20世紀の北極海は、一年中ほぼ全域が白い海でしたが、2007年以降、夏には、約半分の面積が青い海に変わりました。その後、海水減少のトレンドは見られず、4年周期の大きな海水変動が卓越し、グローバルな地球気候変動に影響を及ぼしています。一方、日本近海を流れる黒潮は、2017年以降、大蛇行する流路を呈しています。黒潮の流路変動や水温変動は、日本の気候に大きな影響を与えています。「地球気候変動の核心部」である「北極海」と「黒潮」を取り上げ、私たちが生きる地球気候の仕組みについて講義します。
	深海魚～その奇妙な姿かたちの意味とは～ 茂木正人 教授 魚類学研究室		13:30~14:00	深海魚の多くは奇妙かつ多様な姿をしています。その姿かたちには意味があり、一定の法則があります。その法則とは何か、探っていきましょう。
	海洋環境科学科の紹介と海洋大のマイクロプラスチック研究 荒川久幸 教授 環境測定学研究室		15:15~16:00	最初に海洋環境科学科の紹介を行い、学科の教育や研究の範囲の広さを知ってもらいます。海洋大では様々な角度からマイクロプラスチックの研究に取り組んでいます。全体像を説明した後で、本学科で取り組んでいる研究の成果について説明します。
体 験 学 習	スマホで赤潮を見てみよう！※1 📌 片野俊也 教授 浮遊生物学研究室	9号館 1階 107号室	①13:00~14:15 ②14:30~15:45	スマホで赤潮をみてみましょう。実験室では赤潮について解説してから、赤潮をおこすプランクトンを顕微鏡で観察します。スマホ顕微鏡（台数に限りあり）もあるので、プランクトンを撮影して持って帰れますよ。最後に、海洋大内のポンドに行き、スマホを使って海のクロロフィルを測定してみます。ポンドでは実習艇「ひよどり」も見られるかも！？
	実験：海の海流をつくろう※2 長井健容 准教授 資源環境動態学研究室	9号館 1階 109号室	①13:00~14:00 ②15:00~16:00	自転する地球に吹く風が作る海流を水槽で再現しよう。
	藻類の世界を覗いてみよう 神谷充伸 教授 藻類学研究室	9号館 2階 210号室	10:00~15:00 (随 時)	ポスターを使って藻類の研究についてわかりやすく解説します。また、生海藻や学術的な海藻標本を見たり、顕微鏡で観察できます。
	オープンラボ「魚の健康バイオセンシング～さかなの気持ちをすることは可能か？」 遠藤英明 教授・呉海云 准教授 生体機能利用学研究室	3号館 2階 218号室	13:00~16:00 (随 時)	魚にもヒトと同様に「気持ち」という感情があるのでしょうか？当研究室では、「バイオセンサ」という先端技術を駆使して、その解明に取り組んでいます。今回はバイオセンサの原理について解説し、実際のシステムや実験水槽などを見せながら、魚の気持ちをどのように探求しているのかを紹介いたします。
教 育 研 究 紹 介	学生による研究紹介-①※3 海洋環境科学科 研究室	講義棟 3階 32番講義室	①10:45~11:45 ②14:15~15:15	海洋環境科学科の研究室①（水圏生態化学、鯨類学、海洋生化学、藻類学、環境測定学、魚類学）を紹介いたします。 ※各回60分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。
	学生による研究紹介-②※3 海洋環境科学科 研究室	講義棟 4階 42番講義室	①11:00~12:00 ②14:30~15:30	海洋環境科学科の研究室②（化学海洋学、底生動物学、地球科学系、海洋生態学、生体機能利用学）を紹介いたします。 ※各回60分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。

- ※1 各回定員15名程度（事前予約制）。スマートフォンを持って来て下さい。雨天時には、ポンドには行かず室内で行います。
 ※2 各回定員15名（会場先着順）
 ※3 各回定員120名（会場先着順）

PROGRAM 8 / 3 10 : 00 ▶ 16 : 00 (受付 9:30 ▶ 15:30)

海洋資源エネルギー学科

📌：要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	海の上に巨大な風車はどうやって作られる？設計から最先端の研究まで 高橋英紀 教授	白鷹館 1階 講義室	①11:00~11:30 ②14:00~14:30	洋上では山や建物などの風の流れを妨げる障害物が無く、風車を海上に建設した場合、より大きな電力を生み出せます。洋上風車の高さはブレード先端で300mにも達し、この巨大な風車がどのように設計され、建設されているのかを紹介します。また、東京海洋大学で取り組んでいる最新の研究についても紹介します。
学生教員懇談会	海洋資源エネルギー学科の座談会 高橋英紀 教授		①11:30~12:00 ②14:30~15:00	海洋資源エネルギー学科の教員・学生との座談会です。来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。模擬講義終了後に行います。
体験学習	石の中を見てみよう※ 📌 古山精史朗 准教授	1号館 3階 323号室	①10:00~10:45 ②11:00~11:45 ③13:30~14:15 ④14:45~15:30	古海洋環境の復元、石油探査など岩石を用いた研究はたくさんあり、最も基本的な研究方法は、その内部構造を観察することです。普段見ることのない岩石の中身をどうやって観察するのか、実際の試料を作りながら観察してみましょう。
研究紹介（パネル展示）	海洋資源エネルギー学科の教育研究紹介 海洋資源エネルギー学科教員・学生	2号館 1階 100A・100B 教室	10:00~16:00	海域地震学研究室（中東教授） ・海底地震観測で分かること 海洋気象学研究室（竹山准教授） ・洋上風力発電に資する風況把握の説明 海洋地盤工学研究室（高橋教授・野村准教授） ・海底に広がる地盤の世界 デバイス工学研究室(井田教授) ・超電導発電機／潮流発電装置の紹介 海底探査・地下モニタリング研究室(鶴我准教授) ・地震波で地下を診る 沿岸域工学研究室（稲津准教授・吳助教） ・沿岸域工学研究室の研究紹介 応用情報学研究室（宮本教授・内田教授・浅井助教） ・水中生物からマイクロプラスチックまで海洋調査手法の紹介 海洋数理工学研究室（上野教授） ・海洋における諸現象の数理解析と解説 海洋生物音響学研究室（三島助教） ・イルカの鳴音研究の紹介 海洋音響計測学研究室（甘糟教授） ・音波を使った海洋生物の調査手法の紹介 海洋システム制御工学研究室（戸田教授） ・海洋システム制御工学研究室の研究紹介 海洋底地球科学研究室(古山准教授) ・海洋地質学・炭酸塩地球化学からわかること 海洋環境化学工学研究室（淵田准教授） ・海底鉱物資源開発に関する研究紹介 海洋地球化学研究室（尾張助教） ・海洋掘削研究の紹介

※各回定員6名（事前予約制）、同伴可

PROGRAM 8 / 23 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋生物資源学科

📌：要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	鮮魚コーナーに並んでいる魚から新しい品種を作る！？ 新しい水産養殖のかたち 📌 森田哲朗 准教授 水圏生物生産工学研究所	本会場： 白鷹館 1階 講義室 サテライト会場： 講義棟 2階 22番講義室 3階 34番講義室	10:00~10:45	どんな魚も持っている「生殖幹細胞」は、魚が死んでしまっても2日間は生きています。この細胞を冷凍保存したり、別の魚に移植する技術を使えば、鮮魚コーナーに並んでいる魚からでも養殖に適した新しい品種を作り出すことができます。本講義ではその基本原理と実際の取り組みについてご紹介します。
	ウミガメを守りながらサカナをとる 一生態系に配慮した漁業について 📌 塩出大輔 教授 生産システム学研究室		13:00~13:45	漁業では、海亀や海鳥といった希少な生物が意図せずに釣針に掛かったり網に迷い込んだりする場合があります。そうした混獲を避けてサカナだけを漁獲することで、生態系に配慮した漁業を実現しようとする様々な取り組みとその方法を、実例を交えて詳しく解説しながらご紹介します。
	タコ類稚仔の対捕食者・摂餌戦略 📌 團 重樹 教授 増殖生態学研究室		14:00~14:45	タコ類は身体を守る殻を持たず、素早く泳いで逃避することもできません。特に体サイズが小さい幼生期は魚類の格好の餌となってしまいます。また、稚ダコが貝類や甲殻類などの硬い殻を持った餌生物を食べるためのどのような能力を持っているのか、ほとんどわかっていません。本講義では、近年の研究で分かってきたタコ類稚仔の護身術と捕食能力について紹介します。
体験学習	魚からDNAをとってみよう※ 📌 ゲノム科学研究室	2号館 4階 404号室 (学生実験室)	①9:30~10:30 ②13:00~14:00 ③15:00~16:00	生き物設計図と考えられるDNAはどのような物質でしょうか。東京海洋大学の学生と一緒に魚を解剖し、組織からDNAを簡易抽出して観察してみましょう。体験学習中には、海洋大の先輩に大学生生活について質問する時間も設ける予定です。
	品川で生まれ育ったタコ類稚仔の観察 増殖生態学研究室	2号館 2階 200A	10:00~16:00	当研究室では、マダコやイイダコの初期生態解明と増養殖技術開発を目的として、稚ダコの人工生産と飼育に取り組んでいます。普段目にすることの少ない生きた稚ダコを観察し、実際に研究に取り組む学生と対談することで、水産生物の生態・生活史研究の実際を体験することができます。
	普段は目にすることのない、海中の漁業生産技術・システムを覗いてみよう 生産システム学研究室			私達の研究室では、海鳥や海亀といった希少な生物の混獲を防ぐ手法の開発や、流体や生物との相互作用の解明による持続可能な生産システムの構築を目指しています。普段はなかなか目にすることのない海の中でのこうした現象を、実物の模型やシミュレーションの結果等を見ながら教員や学生とディカッションすることで共に学びましょう。
	科学の力で新しい養殖品種を創り出す！ 水圏生物生産工学研究所			水圏生物生産工学研究所では、種間交雑を活用して、これまでにない高い付加価値を持つ新たな養殖品種の開発に取り組んでいます。本イベントでは、この研究に携わる研究者や学生が、最先端の技術や新しい養殖魚を生み出すための戦略について直接ご紹介します。
	ウイルス感染細胞はどう変わる？ 水族病理学研究室			自己増殖のできないウイルスは宿主の細胞内で、宿主の力を借りて増殖します。ウイルスの研究では、試験管内で培養した宿主由来細胞を用いてウイルスを増殖させる必要があります。ここでは、ウイルスに感染すると細胞はどのような変化を示すのか、顕微鏡で観察・体験することができます。

海洋生物資源学科 模擬講義の会場について
本会場（白鷹館1階講義室）は、高校生・中学生等の予約者のみ入場可能です。同伴者、本会場の予約が出来なかった方は、サテライト会場（講義棟2階22番講義室、3階34番講義室）にてご参加ください。サテライト会場は会場先着順です。

※各回定員30名（事前予約制）、同伴可

海洋生物資源学科

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
研究紹介 （パネル展示）	学生による研究室紹介・パネル展示 水族生理学研究室、水族病理学研究室、増殖生態学研究室、生産システム学研究室、水圏生物生産工学研究所	2号館 2階 200A	10:00~16:00	海洋生物資源学科の様々な研究室で行なっている海の生き物に関する研究について、実際に研究を行っている学生がポスターやパネルを使ってみなさんにご紹介します。
	学生による研究室紹介・パネル展示 水族養殖学研究室、水族栄養学研究室、応用藻類学研究室、集団生物学研究室、資源解析学研究室、魚群制御学研究室、ゲノム科学研究室、先端魚類防疫学研究室、応用微生物学研究室	白鷹館 2階 多目的スペース		

食品生産科学科

：要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	褐藻類と腸内菌の話 久田孝 教授	講義棟 1階 大講義室	12:30~13:00	一般的に、健康なヒトの大腸には数百種の細菌が1gあたり1兆個以上存在し、我々は数百兆個もの細菌と共生していることになります。これは、ヒト自身の体細胞よりも多数です。コンブ、ワカメ、カジメなど日本人が昔から食べてきた褐藻類には、特徴的な水溶性食物繊維がたっぷり含まれています。それはおなかの菌に影響するのでしょうか？
体験学習	蛍の光で汚れを検出※1  食品プロセス工学研究室	3号館 1階 122実験室	①10:00~10:30 ②10:50~11:20 ③11:40~12:10	ちゃんと洗ったつもりでも、目に見えない汚れは本当に落ちているのでしょうか？それを検証するために、この体験学習では食器上の見えない汚れを光らせて数値化する実験を行います。
	インスタントラーメンを作る（油の科学）※2 食品保全化学研究室	3号館 3階 302号室	①9:30~9:55 ②10:00~10:25 ③10:30~10:55 ④11:00~11:25 ⑤11:30~11:55 ⑥12:00~12:25	インスタントラーメンと乾麺の違いを、実際にインスタントラーメンを作って説明します。インスタントラーメン製造において油がどのような役割を果たすのかに関しても説明します。
研究紹介 （パネル展示）	低・未利用水産資源の高付加価値化技術の開発 食品加工学研究室	3号館 1階 102実験室	9:30~12:30	かまぼこや可食性フィルムなど、低・未利用水産加工原料を生かした、水産食品加工業界の現場に近いところでの私たちの最新の研究内容を紹介します。
	安全で美味しい食品を消費者に届ける技術 食品微生物学研究室	3号館 4階 422実験室	9:30~12:30	安全で美味しい食品を消費者に提供するために欠かせない、食中毒菌の制御法及び賞味期限の延長に関する研究について、食品微生物学研究室で取り組んでいる内容をご紹介します。
	AI機械学習による食品の産地・品種の識別 食品流通安全管理学研究室		13:00~16:00	食品の信頼性確保には正しい産地表示が不可欠です。本研究では、分光蛍光光度計による蛍光指紋と深層学習（CNN）を組み合わせ、食品の産地・品種を高精度で識別する技術を開発しました。簡便・短時間で識別可能な本手法は、食品の品質保証と不正防止に貢献します。
	海の「美味しさ」と「健康」を科学する 食品栄養学研究室	3号館 3階 308セミナー室	13:00~16:00	食品栄養化学研究室は食品のもつ栄養機能性に関する研究や、酸化的劣化、呈味有効成分の分析などを各種機器分析や細胞・動物を用いて行っています。海の「美味しさ」と「健康」を科学している研究内容についてポスター展示にて紹介します。
教育研究紹介	食品生産科学科実習紹介（写真と製品展示） 渡辺学 教授、松本隆志 教授		9:30~16:00	食品生産科学科の実習に関するご質問を教員および学生がお受けいたします。実習風景は大型モニターで映され、実習で製造された製品（缶詰等）も展示されます。

※1 各回定員20名（事前予約制）、同伴不可 ※2 各回定員30名（会場で事前に整理券を配布します）、同伴可

PROGRAM 8 / 23 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋政策文化学科

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	ブルーカーボンと地域漁業 原田幸子 准教授	図書館 1階 Shoal Room	14:30~15:00	ブルーカーボンは、海藻などの光合成により大気中のCO2が吸収され、海洋生態系内に長期間貯留される炭素のことです。ブルーカーボンは2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一つとして注目されています。本講義ではブルーカーボン創出の取り組みとともに地域漁業とどのように関わっているのかを紹介します。
体験学習	対話型ワークショップ「南の島パラオを海洋政策文化学科で味わうと」 高橋周 教授・今村圭介 准教授		11:00~11:30	海洋政策文化学科には、様々な視角の学問があります。対象が同じでも学問ごとに多様な関心があり、単一の学問による議論よりも深い理解につながるでしょう。本ワークショップでは、赤道直下の島パラオを題材とした話から、異なる学問からの知見が存在する海洋政策文化学科という学びの空間を体感してください。
	対話型ワークショップ「海の持続的な利用：漁業とレジャーは共存できるか？」 工藤貴史 教授・千足耕一 海洋政策文化学科主任		13:30~14:00	海はみんなのものであり、いろいろな人がいろいろな目的で利用しています。そのため海や生物の利用をめぐる競合問題や過剰利用問題が起こりやすいという特徴があります。今回は漁業と海洋性レジャーとの競合問題の特徴や共存共栄の課題を探りながら、海の持続的な利用について議論していきます。
	オープンゼミ「『小論文』の過去問を読み解く」※1 柿原泰 教授	図書館 1階 多目的室	11:30~12:00	海洋政策文化学科の入試問題（一般選抜小論文）の過去問を題材にして、課題文と一緒に読み解きます。大学での学びや研究とはどのようなものか、ということにも繋がるような議論をしたいと思います（入試の対策・指導を目的とするものではありません）。
	オープンゼミ「魚食と文学」※1 日臺晴子 教授		14:00~14:30	魚食の長い歴史の中で、現在は忘れ去られているような人と魚の関わりが文学に記されていることがあります。ゼミでは英文学作品中に登場する魚を考察した文学研究論文を輪読し、ディスカッションを行います。
	オープンゼミ「経済実験を使って漁業や環境の問題を考える」※1 若松美保子 准教授		15:00~15:30	漁業や環境問題を考えるために重要となる経済学やゲーム理論の考え方をゲームを取り入れて体感しながら学び、研究での実例を紹介します。
教育研究紹介	学科入試案内 高橋周 教授	図書館 1階 Shoal Room	①10:30~11:00 ②12:30~13:00	海洋政策文化学科で実施している一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜について説明します。 ※各回とも内容は同じです。
	実習紹介 藤本浩一 准教授		①11:30~12:00 ②14:00~14:30	1年生の専門導入のための実習をはじめ、マリンスポーツ、水産業、海洋政策、地域社会、水圏環境教育に関する海洋政策文化学科の実習を紹介します。 ※各回とも内容は同じです。
	進路紹介 中原尚知 教授		①12:00~12:30 ②15:00~15:30	海洋政策文化学科を卒業した皆さんの就職先や進学状況について紹介します。 ※各回とも内容は同じです。
	卒論・研究室紹介 工藤貴史 教授		①13:00~13:30 ②15:30~16:00	海洋政策文化学科には様々な観点から海と人・社会の関係を学ぶ研究室があり、そこで学んだ卒業生の卒業論文を紹介し、本学科の学習・研究内容について具体的に説明します。 ※各回とも内容は同じです。
	学科個別相談 高橋周 教授	図書館 1階 グループ学習室	11:30~12:30	海洋政策文化学科での学びや学生生活全般などに関して、来場者の皆さんからの個別相談に応じます。
懇談会	海洋政策文化学科は、どんなところ？ 千足耕一 海洋政策文化学科主任・その他学科教員	①図書館 1階 Shoal Room ②図書館 1階 多目的室※2	①10:00~10:30 ②15:30~16:00	海洋政策文化学科の学びについて説明し、来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。

※1 定員10名（会場先着順）、対象者（高校生・中学生）のみ参加可 ※2 定員15名、同伴可

PROGRAM 8 / 23 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋環境科学科

☑ : 要事前予約

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	ハダカイワシは空を飛ぶ!?そんなワケないか。 茂木正人 教授 魚類学研究室	講義棟 1階 大講義室	10:30~11:00	南極海は日本からおよそ12,000 km離れていますが、その生態系はつながっています。そんなうそみたいな話に、ハダカイワシというしょぼい魚が重要な役割を果たしています。いったいどういうこと？
	地球の中から出てくるものがもたらす生命・資源 山中寿朗 教授 海底科学グループ		13:00~13:30	海底、特に深海底には熱水やメタンを含む流体が染み出す場所で海底資源の形成や特殊な生態系が発達します。地球のこういった営みがこのような生命・資源を支えているのか、概説します。
体験学習	スマホで赤潮を見てみよう！※1 ☑ 片野俊也 教授 浮遊生物学研究室	9号館 1階 107号室	①13:00~14:15 ②14:30~15:45	スマホで赤潮をみてみましょう。実験室では赤潮について解説してから、赤潮をおこすプランクトンを顕微鏡で観察します。スマホ顕微鏡（台数に限りあり）もあるので、プランクトンを撮影して持って帰れますよ。最後に、海洋大内のポンドに行き、スマホを使って海のクロロフィルを測定してみます。ポンドでは実習艇「ひよどり」も見られるかも！？
	実験：海の流れをつくろう※2 長井健容 准教授 資源環境動態学研究室	9号館 1階 109号室	①13:00~14:00 ②15:00~16:00	自転する地球に吹く風が作る海流を水槽で再現しよう。
	藻類の世界を覗いてみよう 神谷充伸 教授 藻類学研究室	9号館 2階 210号室	10:00~15:00 (随 時)	ポスターを使って藻類の研究についてわかりやすく解説します。また、生の海藻や学術的な海藻標本を見たり、顕微鏡で観察できます。
	オープンラボ「魚の健康バイオセンシング～さかなの気持ちを知ることは可能か？」 遠藤英明 教授・呉海云 准教授 生体機能利用学研究室	3号館 2階 218号室	13:00~16:00 (随 時)	魚にもヒトと同様に「気持ち」という感情があるのでしょうか？当研究室では、「バイオセンサ」という先端技術を駆使して、その解明に取り組んでいます。今回はバイオセンサの原理について解説し、実際のシステムや実験水槽などを見せながら、魚の気持ちをどのように探求しているのかを紹介いたします。
教育研究紹介	学生による研究紹介-①※3 海洋環境科学科 研究室	講義棟 4階 44番講義室	①10:45~12:00 ②14:15~15:30	海洋環境科学科の研究室①（水圏生態化学、鯨類学、海洋生化学、藻類学、環境測定学、魚類学）を紹介します。 ※各回60分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。
	学生による研究紹介-②※3 海洋環境科学科 研究室	講義棟 4階 42番講義室	①11:00~12:00 ②14:30~15:30	海洋環境科学科の研究室②（化学海洋学、底生動物学、地球科学系、海洋生態学、生体機能利用学）を紹介します。 ※各回60分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。

- ※1 各回定員15名程度（事前予約制）。スマートフォンを持って来て下さい。雨天時には、ポンドには行かず室内で行います。
 ※2 各回定員15名（会場先着順）
 ※3 各回定員120名（会場先着順）

PROGRAM 8 / 23 9 : 30 ▶ 16 : 00 (受付 9:00 ▶ 15:30)

海洋資源エネルギー学科

	プログラム・担当教員	会 場	開催時間	内容
模擬講義	海の上に巨大な風車はどうやって作られる？設計から最先端の研究まで 高橋英紀 教授	講義棟 1階 大講義室	14:00~14:30	洋上では山や建物などの風の流れを妨げる障害物が無く、風車を海上に建設した場合、より大きな電力を生み出せます。洋上風車の高さはブレード先端で300mにも達し、この巨大な風車がどのように設計され、建設されているのかを紹介します。また、東京海洋大学で取り組んでいる最新の研究についても紹介します。
学生教員懇談会	海洋資源エネルギー学科の座談会 高橋英紀 教授		14:30~15:00	海洋資源エネルギー学科の教員・学生との座談会です。来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。模擬講義終了後に行います。
体験学習	透明地盤で発見！知られざる地盤の中の世界※ 野村瞬 准教授 海洋地盤工学研究室	1号館 2階 201号室	①10:00~10:45 ②11:00~11:45 ③13:30~14:15 ④14:45~15:30	洋上風力発電施設の建設や海底鉱物資源の開発が進む中、海底地盤の挙動に注目が集まっています。しかし、地盤の中で何が起きているかを観察するのは容易ではありません。この体験学習では、普段は「見えない」海底地盤の内部の動きを、ある「特殊な技術」を使って「見える」化し、リアルに体験してもらいます！
研究紹介（パネル展示）	海洋資源エネルギー学科の教育研究紹介 海洋資源エネルギー学科教員・学生	2号館 1階 100A・100B 教室	10:00~16:00	- 海域地震学研究室（中東教授） ・海底地震観測で分かること - 海洋気象学研究室（竹山准教授） ・洋上風力発電に資する風況把握の説明 - 海洋地盤工学研究室（高橋教授・野村准教授） ・海底に広がる地盤の世界 - デバイス工学研究室(井田教授) ・超電導発電機／潮流発電装置の紹介 - 海底探査・地下モニタリング研究室(鶴我准教授) ・地震波で地下を診る - 沿岸域工学研究室（稲津准教授・吳助教） ・沿岸域工学研究室の研究紹介 - 応用情報学研究室（宮本教授・内田教授・浅井助教） ・水中生物からマイクロプラスチックまで海洋調査手法の紹介 - 海洋数理工学研究室（上野教授） ・海洋における諸現象の数理解析と解説 - 海洋生物音響学研究室（三島助教） ・イルカの鳴音研究の紹介 - 海洋音響計測学研究室（甘糟教授） ・音波を使った海洋生物の調査手法の紹介 - 海洋システム制御工学研究室（戸田教授） ・海洋システム制御工学研究室の研究紹介 - 海洋底地球科学研究室(古山准教授) ・海洋地質学・炭酸塩地球化学からわかること - 海洋環境化学工学研究室（淵田准教授） ・海底鉱物資源開発に関する研究紹介 - 海洋地球化学研究室（尾張助教） ・海洋掘削研究の紹介

※ 各回定員10名（会場先着順）、同伴可

PROGRAM 8/2・3・23

共通プログラム

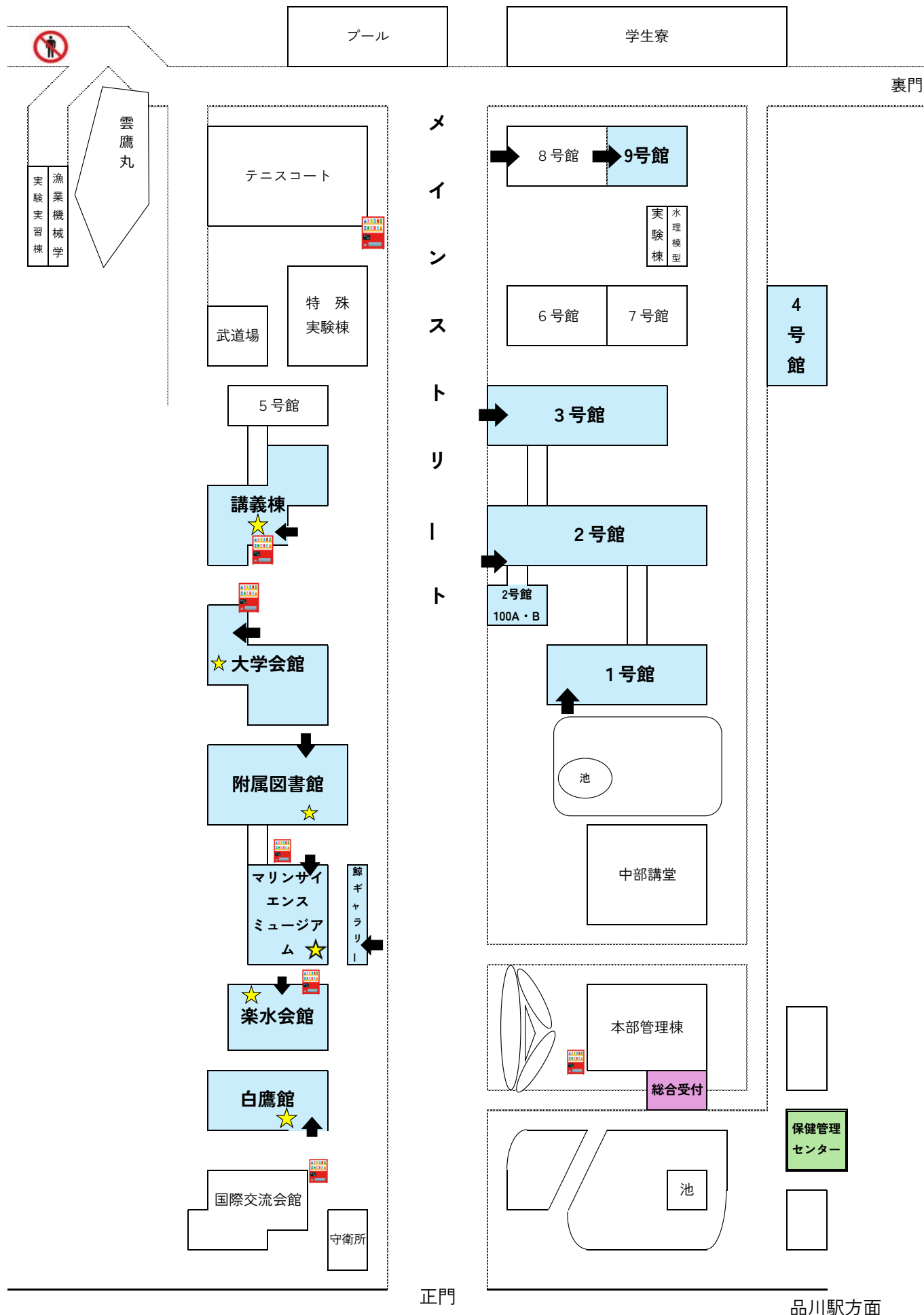
	プログラム・担当	会 場	開催時間	内容
入試相談・資料配布	教員・学生による個別相談	楽水会館 1階 大会議室	13:00~16:00	各学科の教員と学生が個別に大学の教育研究内容や学生生活についての質問などにお答えします。 8/2：海洋生命科学部全学科 8/3：海洋資源環境学部全学科 8/23：海洋生命科学部・海洋資源環境学部全学科
	入試相談 ※8/2・8/3のみ開催 入試課			入試に係る質問について、入試課職員が個別にお答えします。
	資料配布・過去問閲覧		10:00~16:00	学科パンフレット等の資料配布や、過去問題の閲覧が可能ですので、ぜひお立ち寄りください。
	海洋大生による座談会	楽水会館 2階 小会議室	①13:00~13:30 ②13:45~14:15 ③14:30~15:00 ④15:15~15:45	在学生が受験体験や学生生活などについて、来場者の皆さんからの質問にお答えします。 ※対象者は高校生・受験生です。同伴者はご参加いただけません。 ※混雑時は人数制限を行います。
共通プログラム	学部・学科紹介動画上映	8/2・3： 講義棟 3階 34番講義室 8/23： 講義棟 3階 32番講義室	10:00~16:00	学部・学科の紹介動画を上映いたします。 8/2：海洋生命科学部 8/3：海洋資源環境学部 8/23：海洋生命科学部・海洋資源環境学部
	語学学習施設の紹介	大学会館 2階 グローバルコモン	10:00~16:00	グローバルコモンは語学学習スペースです。書籍、CD、映画DVDなど様々な学習ツールのほか、自習用の個人ブース及びスピーキング練習用の防音ブースがあります。 また、小規模なセミナースペースは、英会話レッスンや海外派遣プログラムの事前研修に活用されています。 自由に見学することができます。ご質問にはスタッフがお答えいたします。
	マリンサイエンスミュージアム・鯨ギャラリー特別開館	マリンサイエンスミュージアム 鯨ギャラリー	10:30~15:30	本館・鯨ギャラリーを特別開館します。 両施設の開館時間は10:30~15:30、予約不要・無料で見学できます。なお昼休み(12時~13時)を除く時間は、博物館実習を履修している学生が収蔵品に関する説明を行っています。 ※混雑時は入館制限をする場合があります。本館の最終入館時間は15:00です。
	図書館館内案内ツアー	附属図書館	開館時間: 9:30~16:00 館内案内: ①10:30~11:00 ②12:15~12:45 ③14:30~15:00	・開館時間中は自由に見学・利用することができます。 ・館内案内ツアーを行います。各回先着10名程度・事前予約不要、希望の方は開始時間に図書館2階カウンター前に集合してください。 ・図書館1階ラーニングコモンズが海洋政策文化学科の説明会場となります。

休憩所

○休憩所（飲食可） 9:30~16:00
講義棟 3階 31・33・35番講義室
講義棟 2階 21番講義室

○学食・購買
大学会館 1階
・生協食堂ホール 11:00~14:00
提供メニュー:ラーメン、うどん、定食等
・生協購買・書籍部 10:00~16:00
飲み物、書籍、大学グッズ等を販売しています。

CAMPUS MAP



色が付いた建物のみ入場可能です。矢印 (←、↓、→、↑) は建物の出入口です。



立入禁止



自動販売機

★ だれでもトイレ

MEMO



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問い合わせ先： 入試課入試第一係

E-mail：n-nyusi1@o.kaiyodai.ac.jp

TEL：03-5463-0510

ホームページ： <https://www.kaiyodai.ac.jp/>

東京海洋大学 海洋生命科学部・海洋資源環境学部